



七ヶ宿中学校

望湖克己学館だより

【学校教育目標】「確かな学力と豊かな人間性を身につけ、志をもち、たくましく生きる生徒の育成」

救命入門コース受講 ～誰かのために自分ができること～

7月15日(木)に白石消防署七ヶ宿出張所の消防士の方3名を講師に招いて、救命入門コースの講習を行いました。この講習会は、①心肺蘇生法の胸骨圧迫の手順やAEDの正しい使用方法を習得することで、救命活動の資質と能力を育成すること。

②緊急時の積極的な行動が人命救助につながり、適切な方法で救助活動をする態度を養うこと。をねらいとして実施しました。消防士の方から、丁寧に説明をいただいた後に、早速実技を行いました。

近くの人に119番通報の連絡やAEDを運んできてもらうよう声掛けをする場面では、なかなか大きな声を出すことができませんでした。その後、一人一体のマネキンを使用して胸骨圧迫の仕方やAEDを使っの心肺蘇生の場面では、自分の行動が人命救助につながっていることを意識して、集中して講習に臨んでいました。

校長先生からは「今回の講習で学んだことは、どこかで必ず役に立ちます。いざという時のために、自分ができることを積極的に行ってほしい。」と話がありました。



宮城県中学校総合体育大会 ～七中生大いに活躍、健闘しました～

7月22日(水)から弘進ゴムアスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場)で宮城県中学校総合体育大会陸上競技が行われました。七ヶ宿中学校からは、

1年男子 100m田部一樹さん、
1年男子1500m市川大夢さん、
3年女子 100m田部なつみさんの3名が出場しました。

1年男子100mの田部一樹さんは、予選を通過し、準決勝では自己ベストを更新する力走を見せましたが、全体の9位で決勝進出を逃しました。1年男子1500mの市川大夢さんは、予選を通過し、決勝では自己ベストを更新する素晴らしい走りを見せて、見事第5位入賞を果たしました。3年女子100mの田部なつみさんは、準決勝進出はなりませんでした。このレースに陸上競技に打ち込んできた3年間の思いを込めて走り切りました。



害獣被害から作物を守る～ 授業で電気柵を設置～

7月13日(火)技術の時間に、害獣被害から作物を守るための電気柵を設置する活動を行いました。

講師に本校父母教師会会長の佐藤克幸様を招いて、3年生7名が佐藤様に電気柵についての基本知識や設置の仕方を学び、皆で協力して電気柵を設置しました。

当日は、河北新報やNHKの記者が来校し、講師の話に集中し、真剣な表情で作業している様子取材していました。田部なつみさんはインタビューで「簡単そうに見えて、やってみると設置は難しいと分かった。収穫した枝豆は茹でて美味しく食べたい。」と応えていました。秋には、皆で枝豆の収穫を行う予定です。



七ヶ宿小学校
学校だより

七つの里

【学校教育目標】 かしこく、やさしく、たくましい児童の育成

雨の中でも頑張った「自然体験の旅」

7月8日、9日に蔵王自然の家で、5・6年生の宿泊行事「自然体験の旅」を実施しました。雨続きの2日間でしたが、小雨ということもあり、何とか計画した全ての活動を行うことができました。沢登りやニジマスつかみは、多くの児童にとって初めての自然体験となる貴重な活動でした。また、野外炊飯や冒険ゲームでは、友達と力を合わせることの大切さを学びました。自然の家での生活態度も、班で協力して約束を守ろうとしっかりと行動していました。皆「今回経験したことを、これからの学校生活に生かしていきます！」と話していました。



水流に負けなかったよ！

火を絶やさないのは難しい

きれいにたためたかな？

感染症対策で静かに食事

つかんで、さばいて、焼いて、命をいただきます！



七ヶ宿町出土の土器！

7月5日、七ヶ宿町教育委員会様のご厚意で、七ヶ宿町内で出土した縄文土器を紹介していただきました。高橋正雄様が講師として来校し、発掘の概要や様子について説明してくださいました。土器の欠片だけでなく、欠片を集めて土器の形に復元されているものも見せていただきました。6年生社会科の歴史学習に地域教材を生かすことができました。大変貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。



太鼓の音が鳴り響く！



7月13日から、6年生の太鼓練習が始まりました。今年度も山中七ヶ宿太鼓源流の佐藤光夫様、高橋武尊様のお二人に指導していただきます。1回目の練習では、お二人の流れるような「山神」の演奏を聴かせてもらい、子供たちはその勢いに圧倒されていました。今年の6年生は6名で昨年の約半数と少ない人数ですが、11月の学習発表会に向けて力を合わせて練習を重ねていきます。ご指導よろしくお願いします。

七ヶ宿町の農産業の一つ“そば”について学ぶ

今年度、3・4年生の総合的な学習の時間の一環として、そばに関する学習を行います。7月6日に山田益広様を講師としてお招きしました。そばの花についての説明と、そばの実、そば粉を見せていただきました。また、そば粉を水でといて温めて、そばがきにして食べました。子供たちは、普段と違うそばの食べ方に驚いていました。7月16日には、湯原に行き、そばの栽培としてお借りする畑で種まき作業を行いました。一人一人が等間隔に種まきをする“すじまき”の作業を行いました。低い姿勢で行うなかなか大変な作業でした。その後、全員で“ばらまき”の作業を体験しました。暑い中での作業でしたが、子供たちは、自分たちが植えた種が花を咲かせることを願って頑張りました。

